



アート × 体験

大平由香理アート体験ツアー 津奈木オリジナルの絵の具づくり

外部から委託されたアート体験ツアーを定期開催。参加者は土地の石や砂などをくだいてオリジナルの絵の具作りを体験しました。



アート × 図書館

もりのちいさな図書館づくり 手作り図書館、交流の場に

図書館の壁画を制作。デイサービス利用者、職員、子どもたちにも壁画に手形を押してもらいました。みんなで描いた明るい山の風景が輝いています。



アート × 教育

アグリビジネスチャレンジ事業 絵の描き方をアドバイス

小学生が育てたサラダ玉ねぎ。全国の購入者へ出荷される段ボールには、大平さん協力のもと小学生によって町の名所や柑橘、魚介類などの特産物を描いてきました。



Profile おおひら・ゆかり

1988 年岐阜県生まれ。東北芸術工科大学大学院芸術文化専攻日本画研究領域修了。人間の力が及ばない大自然を固有の視点でとらえ続けている。「アーティスト・イン・レジデンスつなぎ」への参加を機に 2020 年 7 月に津奈木町へ移住。

「少子高齢社会が進む中で必要とされるアート、共に寄り添えるアートはどんなものなのかを形にしていきたい」と、3 年前に津奈木町の地域おこし協力隊になった大平由香理さん。日本画家として全国各地で制作活動した経験を生かしながら、本町のアートに新しい風を吹き込みました。6 月に任期を終えた大平さんに、改めてアートへの思いと、3 年間の活動について聞きました。

アート × 地域おこし協力隊

アートによるまちづくりへの 担い手の一人になりたい

津奈木町との出会いは、つなぎ美術館が 2014、19 年にかけて毎年 1 人の画家を招いて実施した「アーティスト・イン・レジデンスつなぎ」への招聘が縁でした。この事業は地域と交流しながら作品を制作し発表する企画。滞在制作をする中で、町の「アートによるまちづくり」により深く関わりたいと思うようになり、さらに 3 年間、地域おこし協力隊として活動することを決めました。

任期中は美術館業務を日常的にサポートしながら、作品制作を続けてきました。着任時は同館 20 周年を迎える前年で、準備段階からさまざまな企画に従事。柳幸典つなぎプロジェクトでは、「入魂の宿」の敷地内に植物を町民と協力しながら、栽培や植え替え、水やりや除草作業といった、定期的な植生維持管理業務などを関係各所と連携して行いました。たくさんの方の町民の皆さんのご協力のもと、



2019 年滞任時に制作した《つなぎ》つなぎ文化センターに常設展示されている

環境省のコンテストで賞をいただくことができました。この他に、展覧会の設営作業やイベント対応などに携わりながら、常時アートをきっかけに訪れるアーティストや町外の人を町につなげる役割を担いました。アートの現場は常に柔軟な対応が求められるので、今までのアートに関わってきた経験を生かすことができました。個人の活動では、近くの小学校へ壁画制作や授業の一環として絵本づくり、水俣・芦北地域の美術教員向けの技法講習会、外部から委託されたワークショップなどを通じたアート体験ツアーを企画。他には、町を描いた風景を全国各地の美術館などで展示し、町の周知に努めました。町で暮らすことでしか描けなかった風景や作品を作りました。



《入魂の宿》の植栽は大平さんが中心に呼びかけ、長期にわたり多くの住民が参加した